履修案内　２０２６

愛国学園大学

建学の精神・校訓・教育目標

人間に魂があるが如く、学校にも当然魂がなければならない。

私立学校は、国公立の学校と異なり、それぞれ独自の理念と建学の精神に基づいて設立され、これらを具現化することを教育の基本としている。本学は大学を単に学問を探究し、専門職を養成する場ということだけでなく、各個人の人格の完成を目指す全人教育の場でもあると考える。

建学の精神の実践を通して、自己の潜在能力を自ら発見し、家庭に明るく温かい心を、社会に新しい息吹をもたらす人間の育成を目指すものである。

建学の精神

社会人としては、豊かな知識と技術とをもって経済的に独立し、家庭人としては、美しい情操と強い奉仕心とをもって一家の幸福の源泉となる、健全な精神と身体とをそなえた女性の育成を目的とする。

校　訓

「親切正直」

教育の基盤を道徳教育におき、「親切正直」の錬成を目標としている。
「親切正直」は全人類を貫く倫理であり、愛と真はすべての女性の魂でなければならない。

本学の教育目的

愛国学園大学は、教育基本法及び学校教育法の趣旨に則り、本学園の建学の精神を旨とし、幅広い教養と人間文化に関する高度の知識と学芸を教授研究し、我が国の文化の発展に貢献するとともに、人間性豊かな女性を育成する。
人間文化学部人間文化学科の教育目的は、次のとおりとする。

(1) 基礎的知識や自己表現力を養いつつ、自己の潜在能力を発見し、問題解決に立ち向かう能力を養う。
(2) 授業科目の履修及び卒業論文の作成を通して獲得する幅広い知識を活用し、論理的、批判的なものの見方を養い、課題を探究する能力を養う。
(3) 豊かな人間性と倫理観をもって社会の発展に貢献できる能力を養う。

校　歌

織田小三郎　作詞
片山　正見　作曲

一、
筑波根の風　さやかに吹きて
利根の川水　ゆたかに流る
都の東　葛飾の野に
いしずえ固し　我等が母校
若き生命は　ここに集いて
愛とまことの　泉をもとむ

二、
朝に道の　源を聴き
夕に術の　深きを究む
自治の精神　進取の気性
希望にもゆる　我等が前途
理想のひかり　高くかかげて
栄ゆく国を築きあげなん